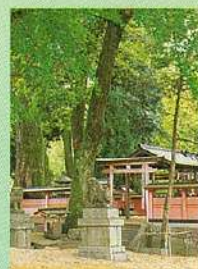
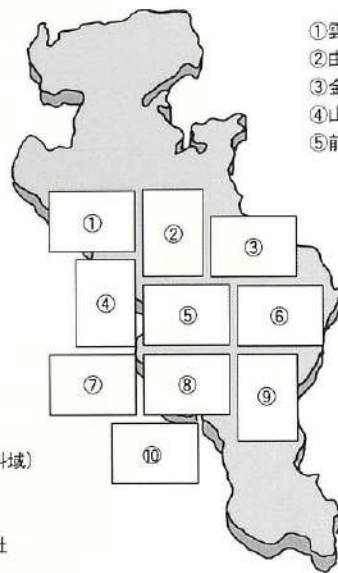


美しい自然と 歴史の調和

京都の自然200選
【歴史的自然環境部門】



表紙の説明



- ①雲岩寺跡(雲岩公園)
- ②由良の門(戸)
- ③金剛院三重塔
- ④山家城址
- ⑤前川堤の桜並木(東一口)

- ⑥琵琶湖疏水(山科城)
- ⑦水度神社
- ⑧高神社
- ⑨井平尾/春日神社
- ⑩鷲峰山



京都府知事

亀井 一

京都府では、府内の優れた自然環境や、文化遺産などの貴重な歴史的環境の保全を図り、将来の府民に引き継いで行くため、「京都府緑と文化の基金」を活用して府内の各地域で様々な取組を進めております。

「京都の自然200選」は、こうした取組の一環として、京都にふさわしい、また、地域のシンボルとして親しまれている優れた自然環境を選定したもので、府民の皆様や市町村から保全対象として御推薦いただいた自然環境の中から、「植物部門」、「動物部門」、「地形・地質部門」そして「歴史的・自然環境部門」の4部門に分けて選定を行ってまいりました。

この度作成いたしました本冊子は、最終の選定部門となりました「歴史的・自然環境部門」について紹介しましたもので、収録いたしました歴史的・自然環境は、いずれも地域の人々の生活や文化と深く関わりながら、地域固有の風土を形成し、長年にわたり地域の人々によって守られ、育まれてきたものばかりです。

この冊子が多くの皆様に親しまれ、府内各地の身近な自然環境に改めて関心をもっていただくとともに、自然に親しみ、ふれあうきっかけづくりや、環境保全の機運を高めていくことに役立てていただければ幸いに存じます。

●京都の自然200選
歴史的自然環境部門一覽

4

6

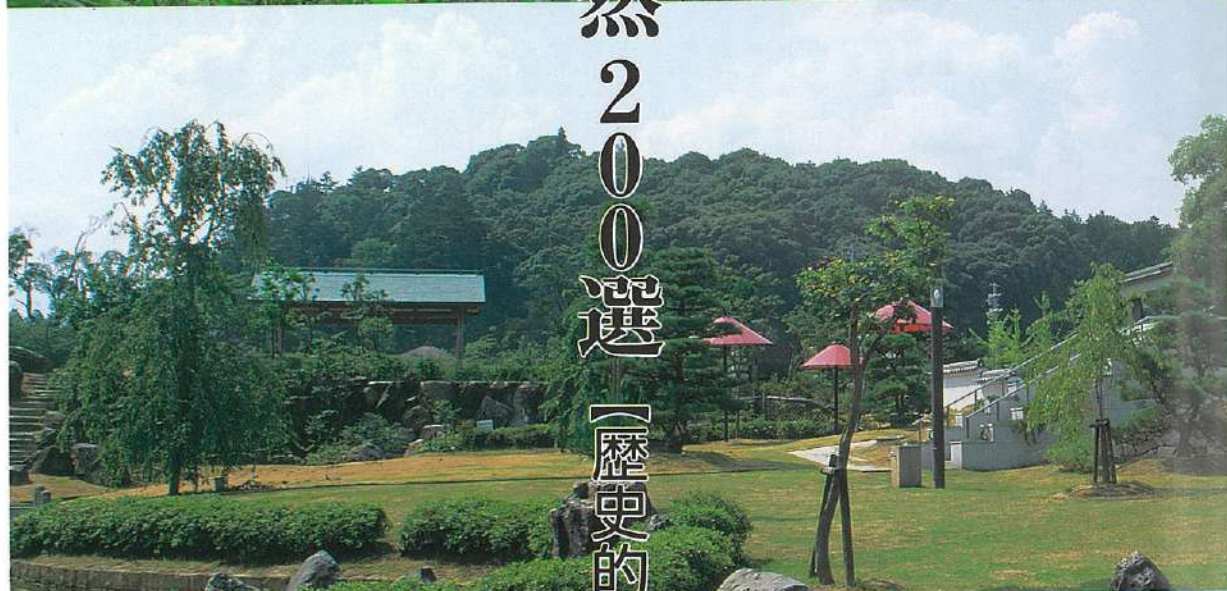
●歴史的自然環境部門

京都の自然200選
【歴史的自然環境部門】
目次

35

●京都の自然200選について
●「京都の自然200選選定委員会」委員名簿

京都の自然200選
〔歴史的な自然環境部門〕



京都の自然200選【歴史的自然環境部門】

- | | | |
|----|-------------------------|-------------------------|
| 30 | 老ノ坂峠(山陰道) | 亀岡市篠町王子 |
| 29 | 出雲大神宮 | 亀岡市千歳町千歳出雲 |
| 28 | 六所神社 | 南山城村大字野殿小字宮前 |
| 27 | 新殿神社 | 精華町大字山田小字医王子 |
| 26 | 鷲峰山 | 和束町大字原山小字鷲峰山 |
| 25 | 笠置山 | 笠置町大字笠置 |
| 24 | 井平尾 | 加茂町大字井平尾 |
| 23 | 当尾 | 加茂町大字西小・岩船 |
| 22 | 相楽神社 | 木津町大字相楽小字清水 |
| 21 | 光明仙(光明山寺跡) | 山城町大字綺田 |
| 20 | 禅定寺 | 宇治田原町大字禅定寺 |
| 19 | 高神社 | 井手町大字多賀小字天王山 |
| 18 | 草路城跡(昨岡神社) | 田辺町大字草内小字宮ノ後 |
| 17 | 上津屋の渡し跡
(上津屋橋周辺) | 八幡市上津屋
城陽市上津屋、久御山町佐山 |
| 16 | 男山 | 八幡市八幡高坊 |
| 15 | 前川堤の桜並木(東一口) | 久御山町大字東一口 |
| 14 | 水度神社と参道の松並木 | 城陽市寺田水度坂・宮ノ谷 |
| 13 | 白山神社 | 宇治市白川婆婆山 |
| 12 | 興聖寺 | 宇治市宇治山田 |
| 11 | 天王山 | 大山崎町字大山崎・円明寺 |
| 10 | 長岡天満宮 | 長岡京市天神二丁目 |
| 9 | 向日神社 | 向日市向日町北山 |
| 8 | 醍醐山 | 京都市伏見区醍醐伽藍町 |
| 7 | 小塩山 | 京都市西京区大原野石作町 |
| 6 | 嵯峨野(大覚寺周辺) | 京都市右京区嵯峨大沢町ほか |
| 5 | 雙ヶ岡 | 京都市右京区御室双岡町 |
| 4 | 琵琶湖疏水(山科域) | 京都市山科区四ノ宮ほか |
| 3 | 花背大悲山 | 京都市左京区花背原地町 |
| 2 | 糺の森 | 京都市左京区下鴨泉川町 |
| 1 | 船岡山 | 京都市北区紫野北船岡町 |
| 31 | 常照皇寺 | 京北町大字井戸小字丸山 |
| 32 | 山国神社 | 京北町大字鳥居小字宮ノ元 |
| 33 | 頭巾山 | 美山町大字福居、綾部市故屋岡町 |
| 34 | 小向山と園部城跡 | 園部町小椋町 |
| 35 | 城山(八木城跡) | 八木町大字八木小字内山 |
| 36 | 海老谷 | 日吉町字四ツ谷 |
| 37 | 酒治志神社 | 瑞穂町字三ノ宮 |
| 38 | 祥雲寺(天足観音) | 和知町字大迫 |
| 39 | 八幡山(高津八幡宮・高津城跡) | 綾部市高津町宮ノ段 |
| 40 | 山家城址 | 綾部市広瀬町 |
| 41 | 丹波安国寺 | 綾部市安国寺町寺の段 |
| 42 | 天寧寺 | 福知山市字大呂 |
| 43 | 大原神社 | 三和町字大原小字ウラ山 |
| 44 | 元伊勢三社(皇大神社・豊受大神社・天岩戸神社) | 大江町字内宮・天田内・仏性寺 |
| 45 | 金剛院 | 舞鶴市字鹿原 |
| 46 | 真名井の清水 | 舞鶴市字公文名・七日市 |
| 47 | 普甲峠の石畳道 | 宮津市字小田 |
| 48 | 由良の門(戸) | 宮津市字由良・石浦
舞鶴市字西神崎 |
| 49 | 大師山 | 加悦町字滝 |
| 50 | 大内峠 | 岩滝町字弓木 |
| 51 | 徐福伝説の地(新井崎神社) | 伊根町字新井小字松川 |
| 52 | 雲岩寺跡(雲岩穴公園) | 野田川町字岩屋小字天王 |
| 53 | 権現山 | 峰山町字吉原小字権現山 |
| 54 | 大野城址(大野神社) | 大宮町字口大野城山 |
| 55 | 上山寺 | 丹後町上山 |
| 56 | 大明神碑 | 久美浜町字湊宮 |



1 船岡山

京都市北区の船岡山は、大徳寺の西南に位置するなだらかな丘陵で、平安京の造営に当たって測量基準点とされた。船をうつ伏せたような形から船岡山と呼ばれ、清少納言が「枕草子」で「良い丘」と褒めたことでも知られている。

山中には応仁の乱の陣跡や織田信長をまつた建勲神社がある。丘陵部はアラカシ等照葉樹を中心にした

学術的にも貴重な森で、都市の中にあつて、人々の憩いの場所として親しまれている。



建勲神社

所在地 京都市北区紫野北船岡町

2 糺の森

京都市左京区の糺の森は、賀茂川と高野川の合流点の下鴨神社境内に広がる約12haの森で、かつてこの一帯が山城原野であった頃の植生が今に残る森といわれている。

ケヤキ、エノキやムクノキ等の落葉広葉樹を中心に約40種の樹木が生育し、泉川の清流にはホタルの飛翔も見られる。古来、多くの物語や詩歌に登場し、葵祭等の伝統行事の舞台としても親しまれている。



下鴨神社

所在地 京都市左京区下鴨泉川町

3 花背大悲山

京都市左京区の花背大悲山は、平安時代末期に創建された峰定寺の境内で、山全体が山岳信仰の地として保全されてきた。

山腹の懸造りの本堂や行場等の歴史的遺産と山中のモミ、ツガ等の優れた天然林とが一体となって歴史的

風土が保持され、府歴史的な自然環境保全地域にも指定されている。



峰定寺仁王門

所在地 京都市左京区花背原地町

4 琵琶湖疏水 (山科域)

京都市山科区を通る琵琶湖疏水は、滋賀県大津市から京都市伏見区まで総延長20kmに及び、近代日本の土木技術を示すものである。

明治23年に竣工してから、近代京都に様々な恩恵をもたらした象徴でもある。完成後約100年を超える歳月を経て、疏水は周囲の自然に溶け込み、「疏水の自然」ともいふべき

景観をつくりあげている。

中でも山科区を通る流路は山科疏水ともよばれ、沿線は東山自然緑地公園として整備され、四季を通じて植物や野鳥観察を楽しめる場所として、多くの人々に親しまれている。付近には諸羽神社、安祥寺などがあり、歴史的風土が保持されている。



所在地 京都市山科区四ノ宮ほか

和歌にも詠まれた優雅な姿

5 雙ヶ丘

京都市右京区の雙ヶ丘は、一の丘、二の丘、三の丘の3峰からなる古生層の独立丘陵で、優雅な姿は古くから数々の詩歌等に詠まれてきた。山中の天然林には野生の鹿や野鳥等も生息し、四季を通じて自然とふれあえる場所として親しまれている。

山腹には古墳時代後期の豪族のものとされる古墳があり、山麓には仁和寺、妙心寺、法金剛院等があり、歴史的風土が保持されている。兼好法師ゆかりの地でもある。



所在地 京都市右京区御室双岡町

嵯峨天皇ゆかりの観月の名所

6 嵯峨野 (大覚寺周辺)

京都市西北部に位置する嵯峨野は、嵯峨天皇ゆかりの地である。中でも離宮嵯峨院であった大覚寺には離宮の頃の風情を残す大沢池があり、周辺には名古曾滝跡や千代の古道等の史跡をはじめ、遍照寺山と広沢池等古くから観月の名所とされている美しい景色が広がり、平安時代の雅をしのぶ歴史的風土が保持されている。



遍照寺山と広沢池



大覚寺と大沢池

所在地 京都市右京区嵯峨大沢町ほか

7 小塩山

奈良時代創建の金蔵寺と天然林

京都市西京区の小塩山は、京都盆地を取り巻く山々の西南端に位置している。山頂の淳和天皇陵や中腹の奈良時代創建の金蔵寺などが古くからの歴史を感じさせる。

平安時代には都の平安を祈念して西の岩倉とされた金蔵寺の境内一帯

は府歴史的な自然環境保全地域に指定され、モミ林等の豊かな自然が保持されている。山麓から頂上に至るハイキングコースは歴史や自然に富み、多くの人々に親しまれている。



金蔵寺仁王門

所在地 京都市西京区大原野石作町

8 醍醐山

壮麗な伽藍と豊かな自然

京都市伏見区の醍醐山は、市の東南、山科盆地の南部に位置する。山域一帯は醍醐寺の境内で、シイやカシ等の常緑樹で構成される豊かな自然が保全されている。山上は上醍醐と呼ばれ、醍醐寺開祖の理源大師ゆかりの国宝の薬師堂や重要文化財の開山堂が配置されている。

山麓は下醍醐と呼ばれ国宝の五重塔や金堂等壮麗な伽藍が広がり、豊

臣秀吉が愛でた桜の名所としても名高く、人々に親しまれている。



五重塔



所在地 京都市伏見区醍醐伽藍町

永い歴史に培われた景勝緑地

9 向日神社

向日市の向日神社は、西ノ岡丘陵南端の高台にあり、奈良時代(718年)に創建されたといわれる古い神社で、朝日に向かって立っている姿から、その名前がついたといわれる。室町時代の建築である本殿は、明治神宮のモデルになったもので、重要文化財にも指定されている。境内中央に舞楽殿、周辺にはうっ

そうと木が生い茂り、心を和やかにする自然環境が保持されている。石畳の約200mの参道の両側には、春はサクラ、秋はカエデと季節折々の美しさを見せてくれる。本殿の北側には、古墳時代前期の大形古墳があり、カシの古木等が緑のトンネルを成す勝山緑地として、市民の憩いの場所となっている。



所在地 向日市向日町北山

キリシマツツジと道真ゆかりの地

10 長岡天満宮

長岡京市の長岡天満宮は、菅原道真が太宰府に流されるとき名残りを惜しんだ地といわれる。境内の天神の森は多くの野鳥が集い、身近な自然を実感できる場所として親しまれている。また、天満宮の東側の八条ケ池は、桂離宮を造営した八条宮智仁親王によって造営され、今も地域の人々に大切にされている。池の堤には樹齢150年を数える

ものもあるといわれる市の天然記念物のキリシマツツジが繁り、うるおいのある水辺空間として親しまれている。



八条ケ池

所在地 長岡京市天神二丁目

天下分け目の合戦で知られる

11 天王山

大山崎町の天王山は、山崎の合戦で広く知られ、古くから軍事や交通の要衝であった。山中には山崎城跡や酒解神社、宝積寺、観音寺(山崎聖天)等が点在し、歴史の深さを感じる場所である。

観音寺の背後に当たる東斜面にはシイなどの自然林が広がり、都市近郊で豊かな自然が残っている貴重な地域である。



観音寺



所在地 大山崎町字大山崎・円明寺

道元禅師の道場を再興した寺

12 興聖寺

宇治市宇治山田の興聖寺は、宇治川の宇治橋上流右岸の朝日山南麓に位置し、曹洞宗開祖の道元禅師の道場を、淀城主永井尚政がこの地に再興したと伝えられる。

寺の背後の朝日山、仏徳山にはシイの自然林が広がり、優れた社寺林を形成している。



楼門(三門)

所在地 宇治市宇治山田

藤原氏ゆかりの古社

13 白山神社

宇治市白川の白山神社は、宇治川上流の山中にある平安時代の藤原氏ゆかりの神社である。緑あふれる境内林に囲まれた拝殿は鎌倉時代の再建で、重要文化財に指定されている。社から宇治川に至る紅葉谷の両側にはツブラジイやシリブカガシ、ク

スノキ等が繁り、秋にはイロハカエデが美しく紅葉する。



所在地 宇治市白川娑婆山

静けさをとどめる憩いの並木道

14 水度神社と参道の松並木

城陽市寺田の水度神社は、室町時代に建築され、重要文化財に指定されている本殿を有する。その参道は、旧大和街道に接して建つ「一の鳥居」から鴻ノ巣山の麓の「二の鳥居」を経て、本殿に至る600mの坂道で、道の両側はマツの古木の並木であった。神社の周りはアカマツを交えたシイ林で、周辺が宅地化した中で、豊かな自然環境を保持している。



参道

所在地 城陽市寺田水度坂・宮ノ谷

巨椋池のなごりの桜の名所

15 前川堤の桜並木 (東一口)

久御山町の東一口は、旧巨椋池の南西に位置する堤防に帯状に形成された漁業集落であった。

巨椋池干拓後、前川(巨椋池排水幹線)堤の両岸に植樹された200本余りの桜並木は、開花時に見事な

景観を呈し、地域の人々の憩いの場所として親しまれている。



所在地 久御山町大字東一口

八幡神が鎮座する山

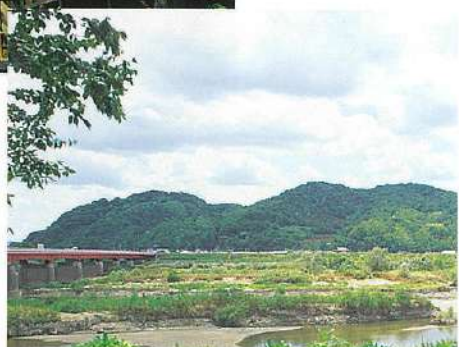
16 男山

八幡市八幡の男山は、石清水八幡宮が建立されて以来、山全体が神域として大切にされ、自然環境が保全されてきた。アラカシ等を中心とした照葉樹林が生育し、野鳥や蝶類等多種類の動物が生息している。

付近はベッドタウンで都市化している中で、貴重な自然環境であり、府歴史的な自然環境保全地域に指定されている。



石清水八幡宮



所在地 八幡市八幡高坊

木津川の渡し舟が往来した跡

17 上津屋の渡し跡 (上津屋橋周辺)

山城地域を貫流する木津川には、明治時代まで各地に渡しが存在し、交通や流通の中継地として利用されてきた。八幡市と久御山町に架かる上津屋橋から数百メートル上流付近は川の兩岸の上津屋村を結ぶ渡し船が往来していたものである。

現在、周辺はアシ原や砂浜、竹林等があり、野鳥の生息地として身近な自然環境を保持している。



所在地 八幡市上津屋、城陽市上津屋、久御山町佐山

静寂につつまれる山城国一揆跡

18 草路城跡 (昨岡神社)

田辺町草内の昨岡神社は、山城国一揆の拠点の一つであった草路城跡にある。神社の周辺は堀が巡らされ、土塁の跡が今なお残されている。

境内はモチノキやクスノキ等のうつそうとした樹木に包まれ、周辺の宅地化が進むなかにも、鎮守の森の自然が保持された人々の憩いの場所である。



所在地 田辺町大字草内小字宮ノ後

奈良時代創建の社殿とホタル

19 高神社

井手町多賀の高神社は奈良時代の創建と伝えられている。境内はシイ、カシ等の常緑広葉樹の森となっており、付近を流れる南谷川にはホタルが飛翔し、初夏の風物詩となっている。周辺はハイキングコースとして親しまれている。



所在地 井手町大字多賀小字天王山

平安時代創建の古刹

20 禅定寺

宇治田原町の禅定寺は、平安中期に創建された古刹である。おおらかで優雅な姿を見せる山門や五輪石塔、十一面観音立像など貴重な歴史的遺産にふれることができる。

寺の背後の山はコナラ、アラカシ等の常緑・落葉広葉樹の混交林で、

優れた植生が保持され、府歴史的自
然環境保全地域に指定されている。



所在地 宇治田原町大字禅定寺

21 光明仙 (光明山寺跡)

山城町綺田の光明山寺跡は、町の東部の天神川上流の山あいの光明仙にある。寺は平安時代に開かれたと推測され、鎌倉時代には、奈良東大寺の重要な末寺であった。

いまって、静かな環境が保持されている。



いにしえの風吹く石仏の里

所在地 山城町大字綺田

22 相楽神社

木津町の相楽神社は、正月に豆焼、粥占、御田、餅花、水試等の豊作を願う儀式が行われ、身近な氏神様として親しまれている。

境内は重要文化財である本殿などの歴史的建造物がケヤキやカシ、シイ等の大木や古木に囲まれ、都市化

の進む木津地域において豊かな自然環境が保持されている。



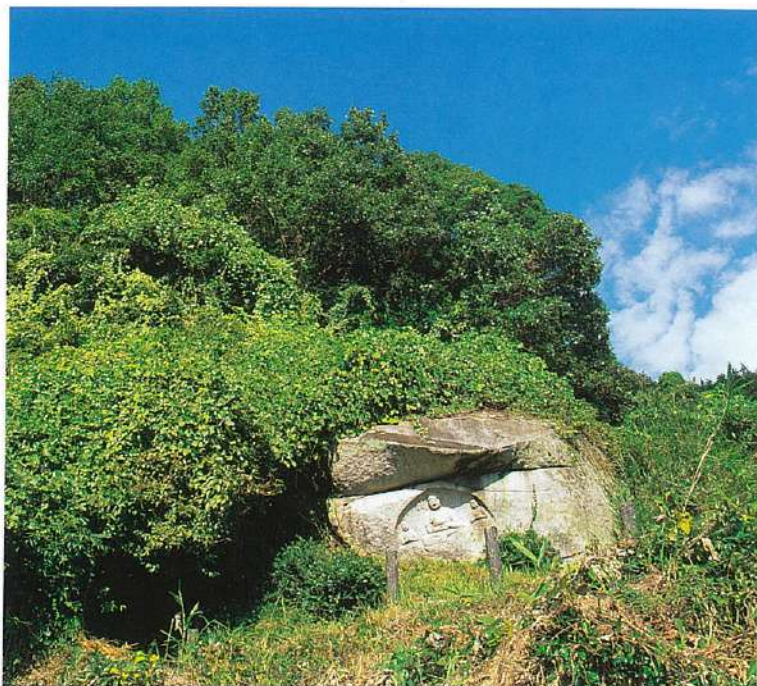
古くからの交通の要所

所在地 木津町大字相楽小字清水

23 当尾

加茂町の南部、奈良市と境を接する当尾地区は平安時代には「小田原」と呼ばれ、南都興福寺の別業として多くの修行僧が庵を結んでいた。

ここには歴史的遺産と自然環境が一体になり、周辺は府歴史的な自然環境保全地域に指定されている。



わらい仏

所在地 加茂町大字西小・岩船

24 井平尾

加茂町の井平尾は「井ノ平」とも呼ばれ、和東川が木津川に合流する付近をさす。集落の西には流岡山があり、山紫水明の景観を呈している。

など水とのつながりが深い。泉の傍らには、「アラカシの古木が生育し、付近には「茅の森」と呼ばれた春日神社の森が住時の姿を今に伝えている。



二つ井



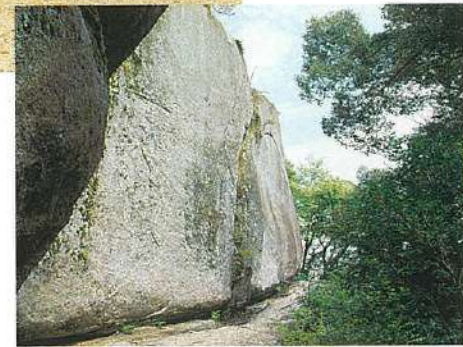
春日神社

所在地 加茂町大字井平尾

25 笠置山

笠置町の笠置山は、木津川に接し、全山花崗岩から成る山中には奇岩・怪石が多数あり、古くからの修験道場、信仰の山として知られている。

笠置寺や巨岩に刻まれた磨崖仏、南北朝時代の元弘の役の後醍醐天皇の行在所跡などの歴史的遺産を擁している。山域はアラカシやクスギ、アオキ等が生育し、府立笠置山自然公園として保全されている。



磨崖仏が刻まれた巨岩

室町時代以来の地域の氏神

27 新殿神社

精華町山田の新殿神社は、木津川の支流山田川の北方で、相楽郡西部のなだらかな丘陵地の東端に位置し、室町時代に建立された本殿をもつ、地域の氏神である。

シイやカシ等からなるこんもりとした常緑広葉樹の森の中の参道を登

ると、本殿や重要文化財に指定されている十三重の石塔が静かに佇んでいる。



所在地 精華町大字山田小字医王子

26 鷲峰山

和束町の鷲峰山は、役小角によって山頂に創建されたと伝えられる金胎寺を中心に、古くからの山岳霊場として自然が保持されている。

東斜面は、奇岩・怪石が多く行場として開かれ、アカマツ林、落葉広葉樹林の優れた天然林が広がっている。山頂及び行場は、府歴史的な自然環境保全地域に指定されている。



五光の滝



金胎寺

風情ある社殿と針葉樹の森

28 六所神社

南山城村野殿の六所神社は、本殿や覆屋が府の文化財に登録されている。境内の建物の周囲はスギ、ヒノキ等の針葉樹を中心とした森である。うっそうとした自然と建物が混然一体となっており、古くから地域の人々の信仰と自然への深い愛情で守

られてきたことをうかがわせる。



所在地 南山城村大字野殿小字宮前

所在地 和束町大字原山小字鷲峰山

29 出雲大神宮

亀岡市千歳町の出雲大神宮は、丹波一の宮とも称され、本殿は南北朝時代の造営で重要文化財に指定されている。社殿の背後にある御影山は「千年山」とも呼ばれ古くから御神体山としてあがめられ、落葉広葉樹を中心に豊かな樹林が見られる。

山麓の境内地には古墳時代の円墳もあり、丹波地域の歴史の遺産が保存されてきた貴重な地域である。



所在地 亀岡市千歳町千歳出雲

30 老ノ坂峠 (山陰道)

亀岡市から京都市西京区へ通じる山陰道は、古代から近世にわたり山陰地方と畿内をむすぶ幹線道であった。中でも、老ノ坂峠付近は、ツバキ、コナラなどがうっそうと繁るなかに国境の道標や酒呑童子の首塚、茶屋跡などがあり、昔から多くの人が行き交った峠道の雰囲気がいまだ良く残っている。

歴史の変革期にはその名がしばしば

ば登場する場所であり、歴史的自然環境を保持している。



酒呑童子の首塚

所在地 亀岡市篠町王子

31 常照皇寺

北朝初代光厳法皇ゆかりの桜の名所

京北町井戸の常照皇寺は、南北朝時代の北朝初代の光厳法皇によって開かれた禅寺である。怡雲庵(開山堂)や勅額門等が立ち並ぶ境内は、府の史跡に指定され、春には、国の天然記念物に指定されている九重桜をはじめ桜の名木が咲き揃う。

寺を囲む山城は、モミ、ツガ、コウマツ等の針葉樹の天然林で、府歴史的な自然環境保全地域に指定されている。



九重桜

所在地 京北町大字井戸小字丸山

32 山国神社

杉木立に囲まれた「山国隊」ゆかりの地

京北町鳥居の山国神社は、明治維新の際の官軍「山国隊」が出陣の誓いをなした社である。

境内のスギ木立ちは、上桂川の清流を挟んで背景に広がる北山杉の林相と相まって山国地域の象徴的な景観を形成し、地域の人々に親しまれている。



所在地 京北町大字鳥居小字宮ノ元

33 頭巾山

とうきんざん・とうきんざん

頭巾山は、美山町と綾部市と福井県名田庄村にまたがる標高871mの山である。弘法大師の雨ごいの祈りとも行われた古くからの水の守り神で、水不足のおりには近在から参詣する人があつと絶たない。毎年4月には山麓の3市町村から多くの人が参拝し、共同で祭を行っている。山中には府内有数のブナ林、シヤクナゲの古木やミズナラ等が生育し、

カモシカ等の大型哺乳類も生息する貴重な自然環境である。



山頂の青菜権現



所在地 美山町大字福居、綾部市故屋岡町

34 小向山と園部城跡

こむぎやま そのべじょうあと

園部町小桜の園部城跡は、初代園部藩主小出吉親が、小向山（小麦山）を中心として築城した城跡である。背後に園部川が流れ、東南西の三方を山に囲まれている城は、幕府の指示で天守閣のない陣家建てで、「園部陣屋」と呼ばれていた。現在、楼門や櫓が残っている陣屋跡には園部高校が建てられ、背後の小向山にはシイの自然林が保全されている。



楼門

所在地 園部町小桜町

若狭街道の要所

36 海老谷

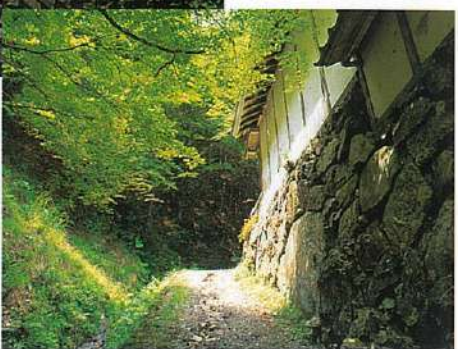
えびたに

日吉町の海老谷は、京と若狭をむすぶ若狭街道の要所で、美山町との間を多くの人馬が往来した海老坂から海老谷川の清流に沿って集落が続いている。

山深い谷間の石垣の上に建つ八百比丘尼ゆかりの玉岩地蔵や宝篋印塔等の歴史的遺産が残されており、古い街道の姿を今に伝えている。



所在地 八木町大字八木小字内山

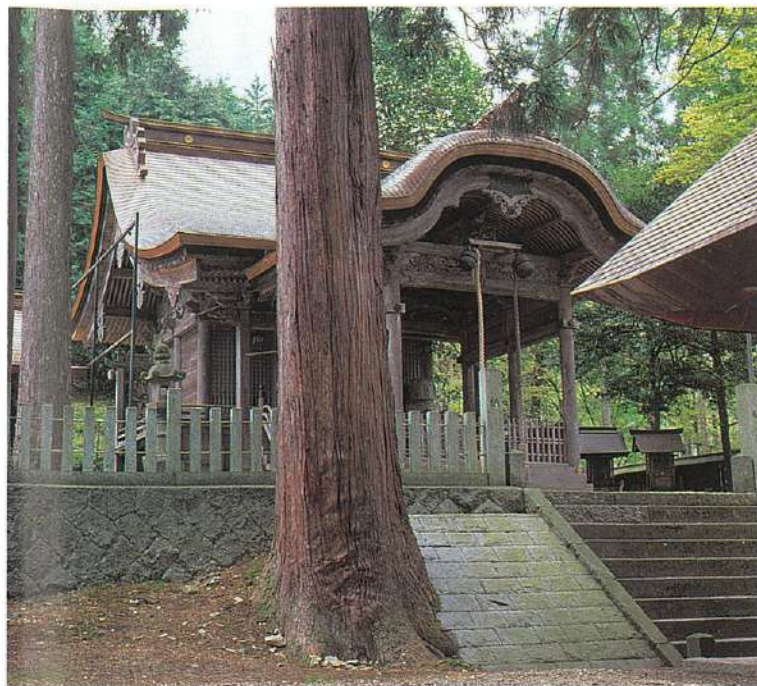


海老坂への道

所在地 日吉町字四ッ谷

37 酒治志神社

瑞穂町の酒治志神社は、三ノ宮地区の宮山の麓にある。平安時代の創建と伝えられ、以来、氏神として地域の人々からあがめられている。社殿の前に林立する2本のスギの大木をはじめ、周辺の自然環境は、人々にとって鎮守の森として心やすらぐ場所となっている。



所在地 瑞穂町字三ノ宮

38 祥雲寺 (天足観音)

和知町大迫の祥雲寺は、江戸時代、寺に閑居し人々を悩みから救ったと伝えられる天足禅師の遺徳に因み、地域の人々から「天足さん」「天足さん」と親しく呼び慕われている。境内の天足観音堂の両脇には樹齢300年を超えるヒノキの巨樹が並



所在地 和知町字大迫

び立ち、霊木としてあがめられている。また、背後には落葉広葉樹やスギ等の樹林が広がっている。

豊かな天然林に囲まれた城跡

39 八幡山 (高津八幡宮・高津城跡)

綾部市高津町の八幡山は、標高151mの山で、山頂には戦国時代の大槻氏の居城であった高津城の曲輪、土塁等の跡が残っている。

山麓の高津八幡宮の境内には、ツブラジイ、ケヤキ等からなる天然林が広がり、地域の人々の憩いの場所として親しまれている。



高津八幡宮



高津城跡

所在地 綾部市高津町宮ノ段

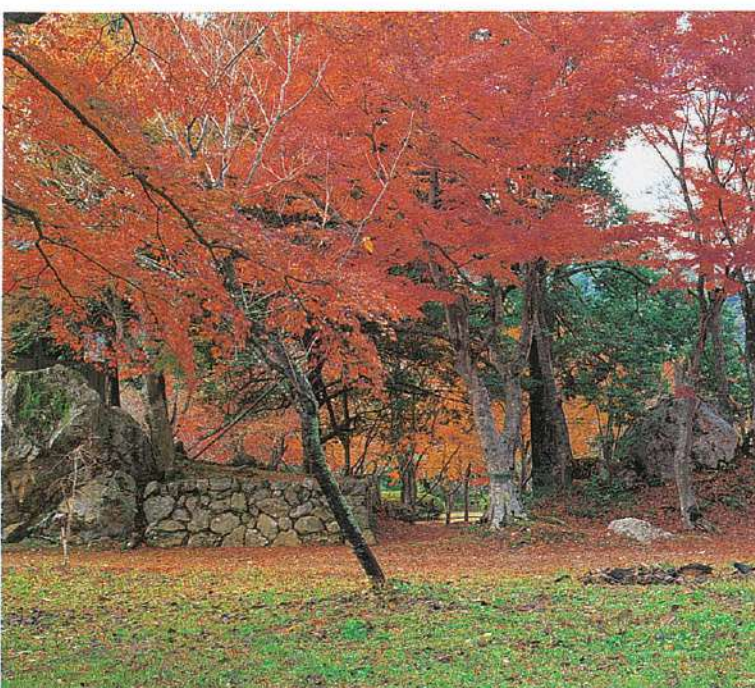
陣家跡はいま市民公園に

40 山家城址

綾部市広瀬町の山家城址は、上林川が由良川にそそぐ合流地点の東に位置している。小高い丘で、江戸時代に谷出羽守が封じられた山家藩の陣家跡であることでもよく知られている。

跡地には資料館が建てられ、7ha

の広大な市民公園としてウメやサクラなども植えられ、周囲にある自然林とともに四季を通じて人々に親しまれている。



所在地 綾部市広瀬町

足利尊氏ゆかりの寺

41 丹波安国寺

綾部市の安国寺は、室町時代に諸国安国寺の筆頭寺とされ、足利尊氏の厚い保護を受けた禅宗寺院である。寺の背後の山には、落葉広葉樹や常緑樹林が広がり、寺のたたずまいと自然がよくとけこみ、歴史的自然環境が保持されている。



所在地 綾部市安国寺町寺の段

室町時代創建の禅宗寺院

42 天寧寺

福知山市の北部の山間にある天寧寺は、室町時代（1365年）に創建されたと伝えられる禅宗寺院である。今も江戸時代後期に建立された開山堂や薬師堂をはじめ、歴史的遺産が数多く残されている。

境内にはシラカシ、トウカエデ、

ツバキ等の大樹が生育し、周辺は市内でも有数の自然林があり、静寂な環境が保全されている。



所在地 福知山市字大呂

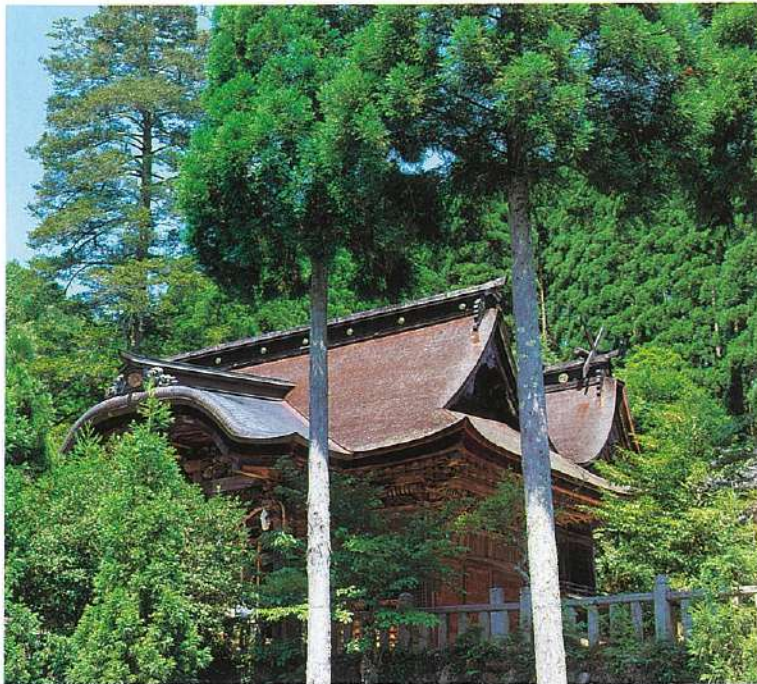
人々の生活を見守り続ける

43 大原神社

三和町の大原神社は、町並みを一望する山腹にあり、安産、養蚕、五穀豊穰の神として古くから人々の信仰を集めてきた。

境内には本殿や茅葺屋根の絵馬堂が配置され、背後の宮山のスギ・ヒノキ等の樹林とが一体となって歴史

的風土が保持されている。近くには産屋が保存されている。



所在地 三和町字大原小字ウラ山



44 元伊勢三社

(皇大神社、豊受大神社、天岩戸神社)

大江町の皇大神社(元伊勢内宮)と豊受大神社(元伊勢外宮)は、伊勢神宮の元宮といわれ、古い歴史を有し、本殿とともに周囲の森林も永い間信仰の対象とされてきた。府歴史的な自然環境保全地域である天岩戸神社周辺とともに元伊勢三社として豊かな天然林は現在も大切に保全されている。



皇大神社



豊受大神社



天岩戸神社

所在地 大江町字内宮・天田内・仏性寺

自然に抱かれた三重塔に歴史を感じる

45 金剛院

舞鶴市の金剛院は、市の東部山間に位置し、平安時代(829年)に創建された寺院である。境内には、本堂や重要文化財の三重塔を擁し、千年ガヤと親しまれているカヤの巨樹やイチヨウの古木、シイ等の自然林が生育し、優れた歴史的な自然環境を保持している。



金剛院三重塔

所在地 舞鶴市字鹿原

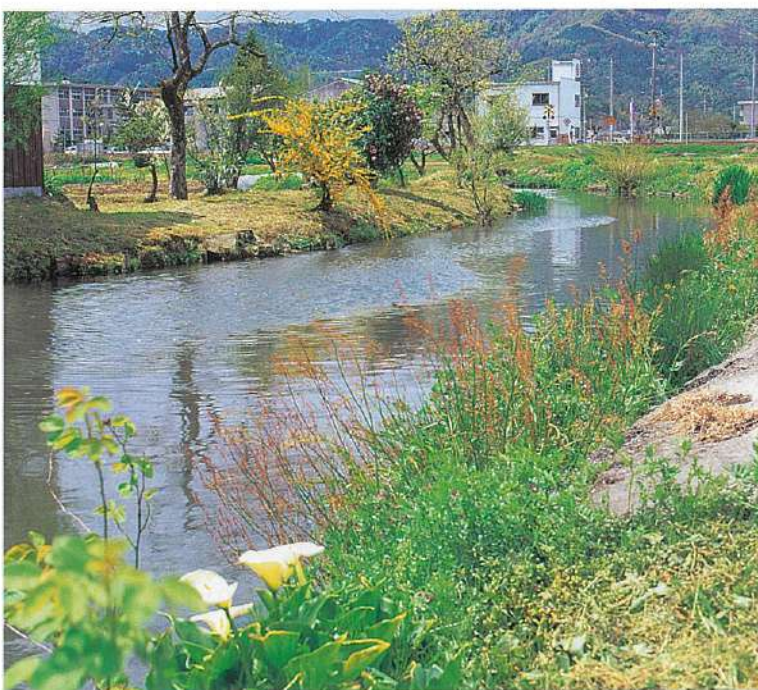
御水道と称された湧き清水

46 真名井の清水

舞鶴市の真名井の清水は、池内川や真倉川の伏流水が、公文名や七日市地区で湧き出しているものといわれる。江戸時代には御水道と称されて田辺城内に引かれ、藩の生活用水として利用されていた。

湧水池(縦10・5m 横12・5m)

深さ0・5m)や180m下流の貯水池には、今もこんこんと水が湧き出ており、水路周辺には田園風景が残されている。



所在地 舞鶴市字公文名・七日市

47 普甲峠の石畳道

宮津市の南端、小田の山中にある普甲峠の石畳道は、江戸時代に、宮津藩主が軍事上の必要から、山陰から畿内へ至る際の関門として、丹後と丹波を分ける峠道を付け替え敷設したものといわれ、藩の重要な公路であった。

大江町方面にかけて、約1kmにわたり石畳が随所に残っており、江戸時代の街道の面影を残す貴重な古道である。



所在地 宮津市字小田

48 由良の門（戸）

由良の門（戸）とは古代の由良川河口の呼び名で、現在の奈良海岸の近くであったといわれている。宮津市と舞鶴市が接する今の由良川河口の港は、古来、由良湊と称されて、内陸水運と沿岸航路の結節点として栄え、江戸時代には、田辺藩が番所を設け水戸銭を徴収した。

この地は古くから製塩が行われ（記録上確認されているのは江戸時代以降）平安末期にこの砂浜を支配した山椒太夫の屋敷が上石浦集落近くにあったと伝えられる。今も河口周辺は白砂遠浅の海岸が保全され、美しい河口の姿をとめている。

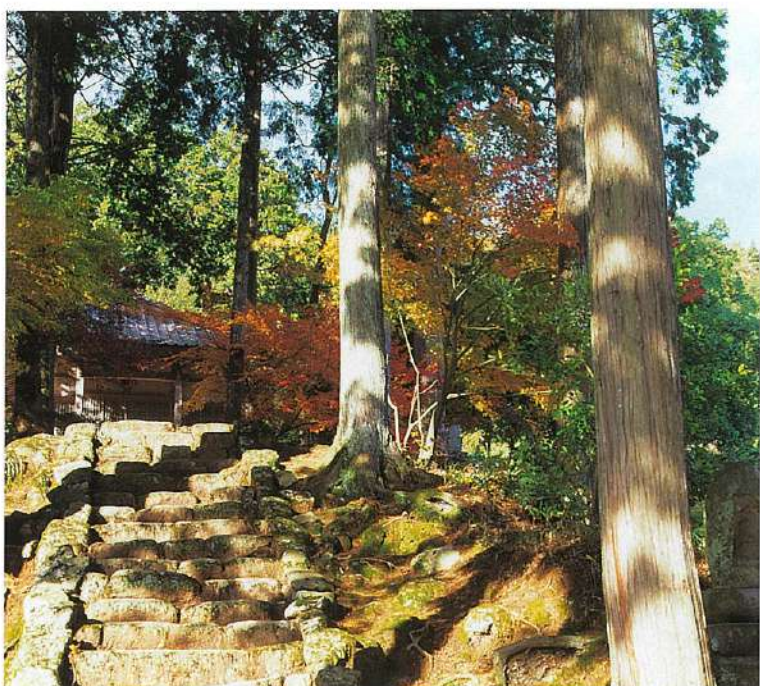


所在地 宮津市字由良・石浦、舞鶴市字西神崎

与謝無村ゆかりの施薬寺

49 大師山

加悦町滝の大師山は、山中の道沿いに88ヶ所の石仏があり、中には巨岩に彫られた石仏も数多くあることで知られている信仰の山である。山麓には、与謝無村ゆかりの施薬寺があり、歴史的な自然環境が保持されている。



施薬寺

所在地 加悦町字滝

天橋立を一望できる景勝地

50 大内峠

岩滝町の大内峠は大宮町に至る峠で、天橋立を横一文字に眺望できる屈指の景勝地として、古来、多くの文人や墨客に親しまれている。山頂には長命いっぶく名水や一字観公園等があり、峠の面影を今に残している。

現在も地域の人々による保全活動が行われ、沿道にはサクラ並木やアジサイ、カエデ等が生育し、四季を通じて人々に親しまれている。



大内峠から見る天橋立

所在地 岩滝町字弓木

51 徐福伝説の地 (新井崎神社)

新井崎には、昔、中国の徐福という人が、秦の始皇帝に命じられて、不老長寿の薬草を探しに旅に出て、漂着した地であると伝えられる。ここ新井一帯は、海岸段丘が発達し、独特の景観を呈している。

岬の周囲は、海触崖に富み、その先端に新井崎神社がある。神社は徐福を祭神とし、地域の人々に親しまれており、海と神社が歴史的自然環境を形成している。



所在地 伊根町字新井小字松川

52 雲岩寺跡 (雲岩公園)

野田川町岩屋の雲岩寺跡は、小高い山にあり、中世には「岩屋山」の山号をもち、大勢の僧が修行する寺であったと考えられている。山頂には雲岩という巨岩があり、そのかたわらには金堂跡の礎石や丹後地方最大の宝篋印塔が残っている。

古くから丹後の名所に数えられているツツジの景勝地で、現在は雲岩公園として豊かな緑が保全され、静ひつなたすまいをみせている。



宝篋印塔

所在地 野田川町字岩屋小字天王

53 権現山

峰山町吉原の権現山は、古くから丹後地域一帯の人々に農耕の神としてあがめられてきた。室町時代には一色家、細川家などの武将の山城が築城されるとともに蔵王権現がまつられたため、権現山と呼ばれている。山頂には曲輪の跡や金峰神社奥宮

があり、府歴史的な自然環境保全地域として人々に親しまれている。



所在地 峰山町字吉原小字権現山

54 大野城跡 (大野神社)

大宮町口大野の大野神社は、明治時代に、豊臣家の家臣であった大野道大居城跡(大野城跡)に遷宮されたものである。

境内は、シイの巨樹をはじめ、タブノキ等の常緑広葉樹に、ケヤキ、ナラ、シデなどの落葉広葉樹が混交

する林となっており、人々が心ゆくまで自然とふれあうことのできる憩いの場所である。



所在地 大宮町字口大野城山

55

上山寺

丹後町の上山寺は、町の東部山間に位置しており、奈良時代に創建の、町を代表する古寺のひとつである。境内には、宝篋印塔や多数の石塔、石仏を有している。

また、28坊あるといわれた寺の周辺の坊跡や門の跡と伝えられる地に

も、優れた石造物が多数あり、自然と歴史が溶けあつて人々に親しまれている。

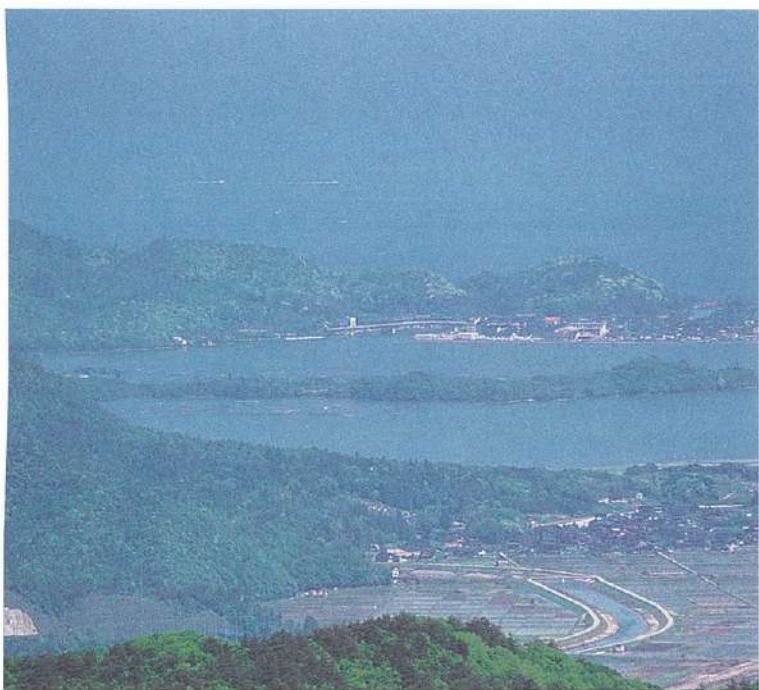


所在地 丹後町上山

56

大明神岬

久美浜町の大明神岬は、久美浜湾の中央部に突き出た岬で、丘に抱かれた円塚は、丹波道主命の古墳と伝えられ、多数の陪塚を伴っている。標高20m程度の海岸段丘地形が広く発達し、清景の中では最も美しく、古来からその風光の美をたたえられてきた。



所在地 久美浜町字湊宮

京都の自然200選について

■京都の自然200選選定事業は、平成2年7月に設置しました「京都府緑と文化の基金」推進事業の一環として京都府内に所在する優れた自然環境を紹介し、これらをはじめとする自然環境の保全について府民の方々の関心を高めるために取り組んだもので、平成3年6月に植物部門50点、平成4年9月に動物部門45点、植物部門5点、平成5年8月に地形・地質部門46点を選定しました。

■今回は、市町村及び府民の方々から推薦のあった歴史的な自然環境部門について、「京都の自然200選選定委員会（委員長：四手井綱英京都大学名誉教授）」の審議を経て平成7年3月に56点を選定したものです。

いずれも地域の象徴的存在として住民に親しまれているものであり、京都の優れた自然として将来にわたって保全すべきものです。

■京都府内には、ここに選定されたもの以外にも多くの素晴らしい自然があります。これらの貴重な財産をみんなの手で守り育て、次代に引き継いでいきたいと考えています。

「京都の自然200選選定委員会」委員名簿

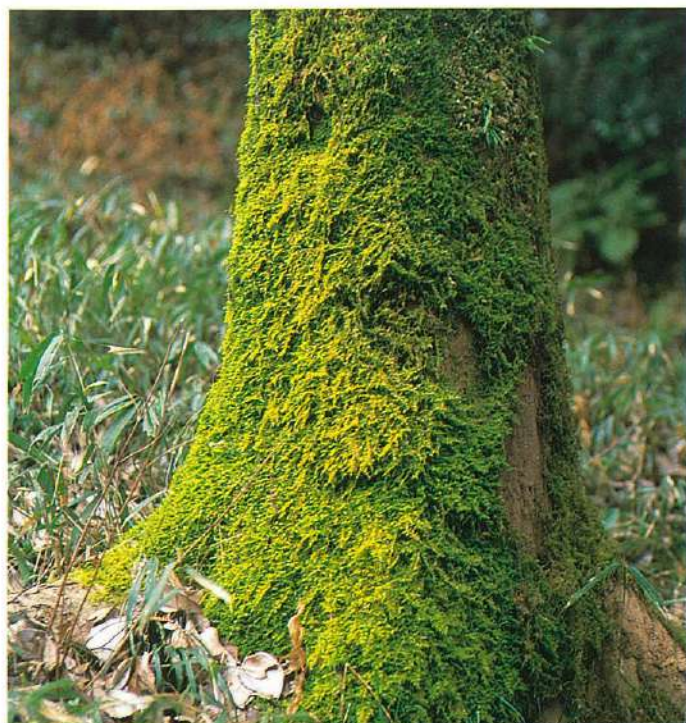
	氏名	選定時における職業または職歴等	備考
府民代表	烏頭尾 精	京都日本画家協会顧問	
	四手井 綱英	京都府自然環境保全審議会会長	委員長
	辻 ミチ子	京都文化短期大学教授	
	西川 忠樹	自然観察指導員京都連絡会代表	
	羽田 登喜男	(社)日本工芸会参与	
	山下 修	京都新聞社論説委員長	
学識経験者	木幡 欣一	武庫川女子大学生活環境学部教授	(植物部門)
	佐野 藤右衛門	(社)京都府造園建設業協会相談役	(" 2.3年度)
	中村 一	京都造形芸術大学芸術学部教授	(" 2.3年度)
	本城 尚正	京都府立大学農学部助教授	(")
	笹川 満廣	京都府立大学名誉教授	(動物部門)
	日高 敏隆	京都大学名誉教授	(")
	森下 郁子	(社)淡水生物研究所長	(")
	繁澤 和夫	京都大学名誉教授	(地形・地質部門)
	中澤 圭二	京都大学名誉教授	(")
	足利 健亮	京都大学大学院人間環境学研究科教授	(歴史的な自然環境部門)
藤井 学	京都府立大学文学部教授	(")	

守っていききたい、**緑と文化。**

府内のいろいろな場所で

さまざまなかたちで

〔緑と文化の基金〕は活かされています



●自然環境の保全・啓発

保全団体や市町村が実施する、身近な自然を守るための保全・保護事業をサポート。地域の人々に親しまれている野生動植物やその生息地などの保全に尽くします。

——— 身近な自然環境保全推進事業

地域の人々に親しまれている鎮守の森や里山、歴史的な工作物などの保全活動をサポート。地域のシンボルとなっている自然環境や歴史的風土の保全を進めます。

——— ふるさとの自然環境と歴史的風土保全活動助成事業

府民と自然とのふれあいの場である府歴史的な自然環境保全地域をレベルアップ。豊かな自然と歴史的風土を生かした、ふれあいの施設整備に取り組んでいます。

——— 保全地域施設整備事業

●自然とのふれあいの場の創出

自然とのふれあいや自然豊かな地域づくりの取り組みをサポート。地域のシンボルとなっている自然をテーマにした啓発活動や施設整備を支援します。

——— ふるさとの自然200選ふれあい推進事業

府内の自然をより身近に感じていただくために、スタンプラリーを実施。府歴史的な自然環境保全地域やふるさとの自然観察路など、毎年テーマを決めて行っています。

——— 京都の自然スタンプラリー開催事業

豊かな自然に恵まれた少年自然の家の機能を生かし、野外での集団生活を体験学習。自然と楽しくふれあいながら自然保護や環境保全意識の高揚を図ります。

——— 「森と小川の教室」促進事業

■京都府〔緑と文化の基金〕とは■

京都の優れた自然環境や文化遺産などを守ること、そして、自然と親しくふれあう場をつくり、環境保全への意識を高めることによって、より豊かな京都を未来へ引き継いでいくために設置されました。

基金の総額は100億円。全国一の規模を誇っています。あなたのまわりに〔緑と文化の基金〕の活用対象となり得る貴重な自然や文化遺産などがあればお知らせください。

●京都文化の保存・伝承

府内の各地域で行われていた伝統行事や祭事など、郷土芸能の再生・復活をサポート。地域文化の振興と活性化を図ります。

——— 郷土芸能保存振興事業

能・狂言・文楽・歌舞伎・邦舞・邦楽・演芸などの古典芸能の公演を援助。広く古典芸能に親しむ環境を培い、その振興・発展をめざします。

——— 古典芸能振興事業

市街地に残る貴重な自然林として親しまれている下鴨神社境内の糺の森。その歴史的な環境を守るため、植生復元などの事業を進めています。

——— 糺の森歴史的環境整備事業

●地域環境の保全

青少年向けの環境科学教室を開催。府内の小学生(高学年)を対象に、夏休みを利用して府保健環境研究所や府保健所で、実験等を通じて日常の身近な現象について調べます。

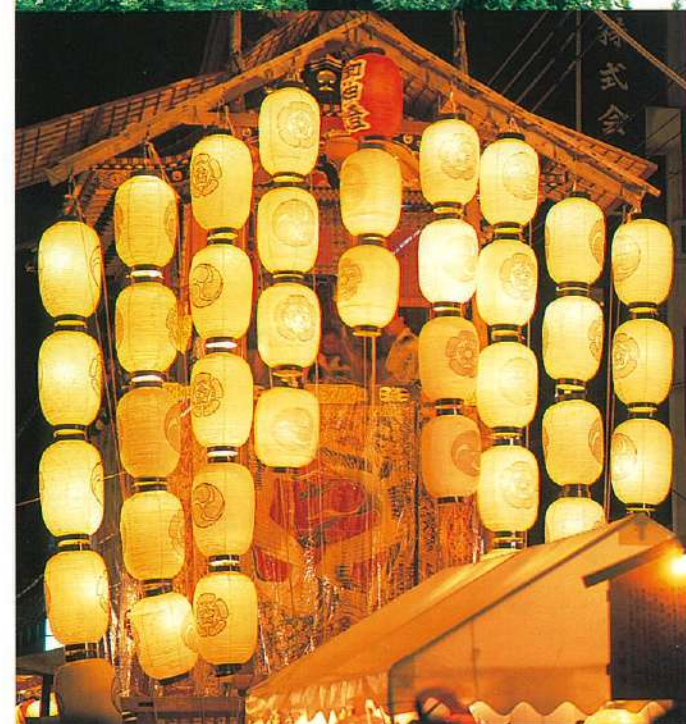
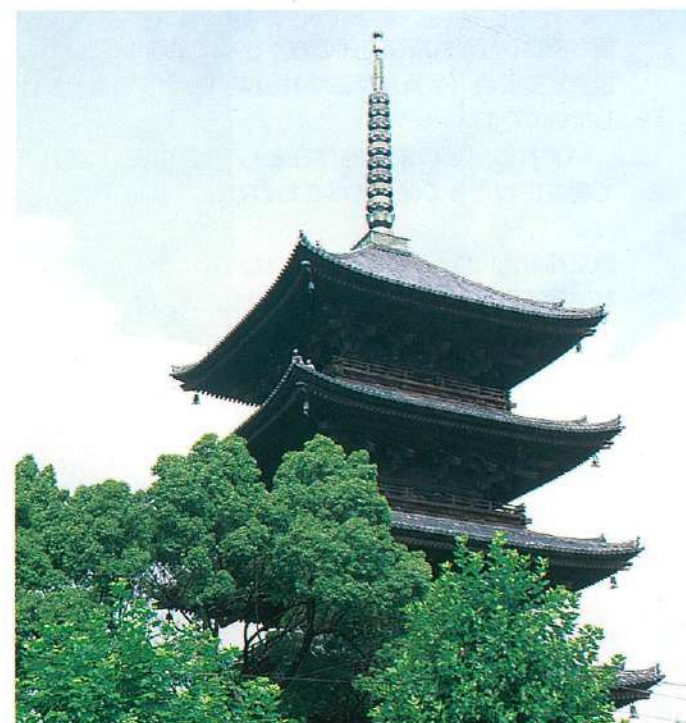
——— 青少年地球環境科学教室開催事業

「環境にやさしい家族の暮らしと健康」をテーマに、府民のみなさんに正しい知識をお伝えする講座を開講。身近なところから、環境保全に取り組みます。

——— 府民地球環境講座開催事業

京都府出身の青年海外協力隊員を「青年海外緑と文化の大使」として委嘱。開発途上国等の自然環境や文化の情報を紹介し、青少年の地球環境問題等への関心や理解を促進します。

——— 青年海外緑と文化の大使事業



KYOTOの美を次代に伝えるために。

緑と文化の基金

地域の自然を守る活動や、祭・伝統的行事などに「緑と文化の基金」が活用できないかなど
思うことなどあなたの声をお聞かせください。